

主要事業評価シート(第1次実施計画／H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部	
	17036	東海道街道環境整備事業(布気小野線)		課名	土木課 施設整備G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	09:歴史的風致を生かしたまちづくりの推進			款	08:土木費
	施策の方向	01:東海道を基軸とした歴史的風致の維持向上			項	02:道路橋梁費
	戦略プロジェクト	04:「ジモトノココロ」プロジェクト			目	03:道路新設改良費
	事業予定期間		H 27 ~ H 30 年度	主な根拠法令要綱等		歴史まちづくり法、景観法

② 目的・概要	対象	市民、来訪者			
	目的	亀山市歴史的風致維持向上計画に基づき、旧東海道の一部である太岡寺囃(市道布気小野線)における街道環境の整備を行う。			
概要	概要	旧東海道の一部である太岡寺囃(市道布気小野線)の歩道整備や植樹等を行うことで、良好な街道環境の形成に向けた道路整備を行う。			
		計画延長 L=800m 歩道幅員 2.5m (根切りシート 1,000㎡、掘削・埋戻し 1,400㎡、張りコンクリートB700 法尻工留工 500m)			

③	年度計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		○歩道工事 L=145m ○法面工事 L=120m		○歩道工事 L=215m			
年度実績		歩道工事 L=145m 法面工事 L=120m		歩道工事 L=215m			
事業の計画・実績	計画額	事業費	10,800千円	18,000千円			
		国庫支出金	5,390千円	9,900千円			
		県支出金					
		地方債	4,800千円	7,200千円			
		その他					
		一般財源	610千円	900千円	0千円		
事業費	予算額	事業費	25,800千円	16,000千円			
		国庫支出金	13,640千円	8,000千円			
		県支出金					
		地方債	10,900千円	7,200千円			
		その他					
		一般財源	1,260千円	800千円	0千円		
	決算額	事業費 ①	24,503千円	15,727千円			
		国庫支出金	17,847千円	7,752千円			
		県支出金					
		地方債	3,900千円	6,900千円			
		その他					
		一般財源	2,756千円	1,075千円	0千円		
人件費		総人件費 ②	439千円	233千円			
		一般職員	439千円	233千円			
		所要人員	0.06	0.03			
		臨時職員等	0千円	0千円			
		総コスト(①+②)	24,942千円	15,960千円			
		受益者負担率	0.0%	0.0%			

				平成29年度	平成30年度	令和元年度
④ 指標	①	名称	整備事業進捗率	計画値	75	100
			実施済み事業費/総事業費	実績値	75	100
				単位	%	%
	②	名称		計画値		
				実績値		
				単位		
	③	名称		計画値		
				実績値		
				単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 本事業の特定財源である社会資本整備交付金の配分率の低下により財源確保に苦慮している。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 国への要望強化に努め、可能な限り他事業との事業間調整を行い、財源確保に努めた。

評価		(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 国への要望も強化し、予算確保を行い、整備計画どおり全線完成に向けた工事を行った。 A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 工事が完成したことにより供用開始が図れ、太岡寺礫における良好な街道環境の形成が図られた。 A 十分な成果を得た

⑦今後の対応方針	課題	【課題は何か】 全線完成した法面部(草刈り等)の維持管理について継続的に行っていく必要がある。	今後の方向性	☐ 拡大
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 太岡寺礫の良好な環境と景観保全を図るため、道路への愛着心を向上する目的として地元である神辺地区ふれあいまちづくり協議会と市道布気小野線道路管理区域内における日常的な軽微な管理(雑草の除草、ごみ拾い、害虫駆除、排水路清掃等)の維持管理協定を締結した。		☐ 現状維持
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 市道布気小野線の歩道が整備されたことにより、旧東海道を散策していた歩行者の安全と安心が向上し、地域まちづくり協議会と日常的な管理を締結したことにより今後の街道環境も維持されることで旧東海道の魅力が高まり、亀山宿から関宿への散策者の増加に寄与する。また、亀山商工会議所等が進めている街道観光の新たな資源となることで、市外への情報発信と来訪者の経済効果も見込める。		☐ 縮小
	対応時期	令和元年度		☐ 廃止
				☒ その他
				【その他の場合、その内容を記載】 平成30年度で事業完了

【1次評価者】	産業建設部 土木課 施設整備グループリーダー 水越 洋光
【最終評価者】	産業建設部 土木課長 服部 政徳

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	A			
	成果	B	A			